

No.44	2017/11/3	<p>SparView No.44</p> <p>1) スマホで3D採取: 実用性が格段に向上した、と言っているが、本当ならすばらしい。</p> <p>2) ジャイロプレーン: 動力源を使わずに風で翼が回転し、それで揚力を発生して浮き上がるという、信じられない飛行体。人間も簡単に空に舞い上がれるのですね。</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(44)gyroplane.pdf</p>
No.41	2017/10/28	<p>SparView No.43</p> <p>非常にリアルなリアリティ。コンピュータグラフィックス技術はゲームがリードしてきていたが、VFX(visual effect 視覚効果)はまさにその技術です。人間の目は簡単に騙せるのですね。</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(43)RealReality.pdf</p>
No.42	2017/10/22	<p>SparView No.42</p> <p>1) この世界でハイブリッドといえば、①エンジン駆動&モータ、②固定翼&マルチロータ などが思い浮かぶが、③飛行船&ドローン も十分あり得ますね。</p> <p>2) GPR(ground penetration radar: 地下埋設物3次元検出) は、地表面を走行する車に搭載するのが常識であったが、ドローン搭載も可能ならば、便利です。</p> <p>3) 国際航空連盟 (FAI) 主催の飛行レース世界大会に日本人パイロットが優勝</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(42)Hybrid.pdf</p>
No.41	2017/10/14	<p>1.SparView No.41</p> <p>1) 昆虫や小鳥が空を舞い、お互いに衝突することもなく、建物にぶつかるともない。複雑な画像処理や認識アルゴリズムが働いているわけではない。目に映る画像の変化部分だけ認識して即座に判断している、と言われていて。イベントカメラの単純なアルゴリズムにも通ずるのだろうか？</p> <p>2) スパイダーマン・ドローンや止まり木機能も、構造物劣化検査などの接触型センサーに有効。</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(41)EventCamera.pdf</p> <p>2.SPAR2017Jでのスポンサーテクニカルセッションでのプレゼンスライドリスト</p> <p>http://www.sparj.com/SparJ/Spar2017J/TSprogram.pdf</p> <p>これまで(7/1~10/14)のアクセス実績</p> <p>http://www.sparj.com/SparJ/Spar2017J/TSslideAccess1014.pdf</p> <p>早めに登録されたところ、アクセスが伸びています。</p>
No.40A	2017/10/12	<p>Event案内</p> <p>1.IT活用の今後 KKE Vision 2017(10/24)</p> <p>構造計画研究所さんから、案内いただきました。</p> <p>ITの今後の活用について、示唆に富む内容のようです</p> <p>http://www.sparj.com/event/KKEvision2017.pdf</p> <p>2.恒例のJTC主催講習会(11/27)</p> <p>ドローン(UAV)などを活用した3次元計測の最新技術と具体的な活用法をエキスパートの方々から学ぶ講座。本分野の技術もマーケットも全世界で激しく動き続けており、その最新事情・動向を解説します。新しくメンバーに加わられた方への教育だけでなく、今後の事業戦略を企画する方にも有効です。</p> <p>http://www.sparj.com/event/JTC2017A.pdf</p>
No.40	2017/10/7	<p>1.SparView No.40</p> <p>今後ドローン配送などで、多数のドローンが世界中を行き交うようになると、鷲などの大型鳥からの攻撃問題もクローズアップされてこよう。話し合いで解決できないし、人間が勝手に領空を侵食し始めるのだから、うまく共存できる仕組みを考え出す必要がありそう。</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(40)EagleAttack.pdf</p> <p>2.SPAR2017Jでのスポンサーテクニカルセッションでのプレゼンスライドの公開が追加されています。</p> <p>http://www.sparj.com/SparJ/Spar2017J/TSprogram.pdf</p> <p>3.プラント3次元計測フォーラム(12/6)ちらし、更新しています。会議参加(事前登録制)募集中。</p> <p>http://www.sparj.com からどうぞ</p>
No.39	2017/9/30	<p>1.SparView No.39</p> <p>1) 真珠湾攻撃のときに、米軍はすでに爆弾搭載ドローンを開発し、応戦していたのですね。初めて知りました。</p> <p>2) 農作物の生育状態や病害発生が、ドローンに付けた特殊センサーで人間の目で見るとより正確かつ早期に発見できることが、精密農業が加速する要素のひとつです。</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(39)CropDisease.pdf</p> <p>2.東大研究室からの案内(関心のある方おられるかもしれません)</p> <p>ポスト「京」で重点的に取り組むべき社会的・科学的課題に関するアプリケーション開発・研究開発重点課題⑥ 革新的クリーンエネルギーシステムの実用化</p> <p>http://www.sparj.com/event/PostKei6Sympto.pdf</p>
No.38	2017/9/23	<p>1.SparView No.38</p> <p>1) MatterportやCupixのような低価格カメラで3D採取、使い易いソフトウェアも用意され、マーケットの底辺拡大が加速しそう。</p> <p>2) 飛来する敵国ドローンを数十KWのレーザー銃で撃ち落せる技術も進歩してきた。ICBMを大気圏外で破壊する数百KWクラスの完成が待たれる。</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(38)Matterport.pdf</p> <p>2.恒例のJTC主催講習会(11/27)</p> <p>ドローン(UAV)などを活用した3次元計測の最新技術と具体的な活用法をエキスパートの方々から学ぶ講座</p> <p>新しくメンバーに加わられた方への教育などにご利用ください。</p> <p>http://www.sparj.com/event/JTC2017A.pdf</p>
No.37	2017/9/16	<p>1.SparView No.37</p> <p>1) ライダーの低価格化が止まらない。メーカーは誰でも顧客を繋ぎ止めるのか。圧倒的な精度の良さか、ソフトか、信頼性か、サービスの良さか、アップルが新スマホで表明したように、あえて高価格戦略という手もある。いずれにしても過去の成功体験が続かないのは事実であろう。</p> <p>2) 折り紙風の籠型ドローン 面白い発想</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(37)OrigamiDrone.pdf</p>

No.36	2017/9/9	<p>1.SparView No.36 アマゾン、ドローン配送関連特許を出している。小売業最大手のウォールマートは、グーグルと組んで対抗しようとしている。ドローン全般では中国のDJIが早くから特許戦略に大きな網をかけている。日本メーカーからの出願はほとんど耳にしないが、大丈夫だろうか？ http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(36)AmazonPatent.pdf</p> <p>2. 個人的ブログ「XXファースト」を糾弾しよう http://www.sparj.com/kojimemo/KojiMemo(34)NoXXfirst.pdf</p>
No.35	2017/9/1	<p>1.SparView No.35 1)3Dライダーが日用品 (commodity) 並みに手に入れやすく。 2)マイクロソフトのホロレンズを使ったAR(augmented reality 拡張現実)も、大衆化に。 http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(35)LIDARcommodity.pdf</p> <p>2. 次回「第3回UAV 3D計測・活用フォーラム」は、JUIDA主催の「第3回Japan Drone展」の中で開催します。 出展募集中 http://www.sparj.com/JUIDA/JapanDrone2018.pdf</p>
No.34	2017/8/29	<p>1.SparView No.34 地下構造物の3次元計測には、GPR(ground penetrating radar)が使われてきたが、精度に難があった。EMLなど他の手法と組み合わせることで実用範囲が広がってきた。 http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(34)GPR&EML.pdf</p>
No.33	2017/8/18	<p>1.SparView No.33 1)HoloBuilder360° でフォトグラメトリスキャン、謳い文句では革新的技術のようだが、今後のマーケットにどの程度インパクトを与えていくのか、注目したい。 2)人間は例えば飛行機の一機の写真(2次元画像)を見れば、3次元形状を思い浮かべることができる。その知識と想像力をAIにやらせて、3次元モデルを生成する。たしかに面白い発想である。 http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(33)2Dto3DbyAI.pdf 2先に紹介した個人ブログKojiMemo(32)に色んなコメント受けました。補足・追記を http://www.sparj.com/kojimemo/KojiMemo(33)Nuclear.pdf</p>
No.32	2017/8/11	<p>1.SparView No.32 1) 鳥のように壁に張り付くドローン:面白いアイデア 2) 米軍は中国製DJIドローン使用禁止:戦略上やむを得ないか http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(32)DroneOnWall.pdf</p>
No.31	2017/8/5	<p>1.SparView No.31 1) 点群データを前処理無しで、そのままCAD編集作業の感覚で操作できる、という、本当かな？ 2)ソリッドステートライダー ついに50 \$で。たしかにマイクロチップ化して大量生産できれば、可能性はあるのでしよう。 http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(31)PointCloudCAD.pdf</p>
No.30	2017/7/29	<p>1.SparView No.30 1) NewVTOL 垂直離着陸 (VTOL: vertical takeoff and landing)できるドローンは、オスプレータイプが主流。鳥のような羽ばたきタイプも実用化されている。シンガポールから新しいアイデアが。 2) NoWarBut 戦争はしてはならない。しかし現実・・ http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(30)NewVTOL.pdf</p>
No.29	2017/7/22	<p>1.SparView No.29 1)リアルとバーチャルの融合:AR(augmented reality 拡張現実)の大衆化に、マイクロソフトのホロレンズ、グーグルのタンゴが先行し、アップルも乗り出してきた。世界3巨頭の登場で、普及が一段と加速しそう。 2) 偵察や常時監視などの連続性が求められる用途には、水素燃料電池の出番が増えてくるだろう。 http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(29)AppleAR.pdf 2<再送>日本写真測量学会 (JSPRS) 写真から3Dモデル作成実習講習会 <まだ若干余席がありそうです> この機会に学会入会されることをお勧めします。 http://www.sparj.com/report/DoPhotoGram.pdf 3.エンジニアリングITオンライン:「ENN」SPARJパートナー 1)河村インタビュー http://www.enn-net.com/it-online/2017/0628/spar.html 2)HEXAGONインターグラフ近況 http://www.enn-net.com/it-online/2017/0720/hexagon.html 4.ドローンを使った遭難者探索 第2回競技会 8月2日(水)Japan Innovation Challenge 2017 事前説明会 https://www.innovation-challenge.jp/ 2017-07-22 2)HEXAGONインターグラフ近況 http://www.enn-net.com/it-online/2017/0720/hexagon.html</p>
No.28	2017/7/15	<p>SparView No.28 1)リアルタイムSLAM(simultaneous localization and mapping :画像処理による自己位置認識とマッピング)技術の進歩が著しい。衝突防止の自動判断できるほど高速。 2)ドローンのような移動体(エッジコンピューティング)のセキュリティ対策が、今後重要になってくるであろう。と言って素人に手が出せるわけではないので、専門家に頑張ってもらいたいが、利用者としても知っておく必要がある。 http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(28)EdgeComputing.pdf</p>
No.27	2017/7/5	<p>1.SparView No.27 「3次元大衆化」の荒波でライダーの低価格競争に、再び拍車がかかってきた。関連ビジネスモデルも変わっていくであろう。 http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(27)LowCostLidar.pdf</p> <p>2.写真測量学会 (JSPRS) 写真から3Dモデル作成実習講習会 下記案内は学会会員向けですが、非会員の方も申込み可能です。 ただし、合わせて学会に入会いただく必要がありますが、本分野に携わる方には非常に有益な情報が得られる学会ですので、この機会に入会されることをお勧めします。 http://www.sparj.com/report/DoPhotoGram.pdf</p>

No.26	2017/7/1	<p>1.SparView No.26 1)3次元大衆化が、3次元ライダーセンサーまで。8万円の自作キット。マーケットの裾野の広がりが期待できそう。 2)空飛ぶ車の開発は、中国が世界をリード。日本は遅れている感じ、頑張ってもらいたい。 http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(26)Lidar700\$.pdf</p> <p>2.SPARJウェブアクセス統計更新 このところ月間20万レベルが続いていたのが、6月はいきなり68万。原因はSPAR2017Jでの発表「こいし小町」と「プラントの旭化成」 http://www.sparj.com/WebAccess/WebPageAccessRank201707.pdf</p> <p>3.SPAR2017J スポンサー・テクニカルセッション発表スライド 1)GEXCEL http://www.sparj.com/SparJ/Spar2017J/sponsor/Gexcel.pdf</p>
No.25	2017/6/23	<p>1. SparView No.25 画像診断は、さまざまな産業、医療の現場で開発と実用化が進んでいる。マシンラーニングを使ったPENSAREのような汎用開発基盤が、日本からも生まれてくるべきだ。 http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(25)MachineLearning.pdf</p> <p>2.SPAR2017J 終了：発表スライドさらに充実して更新 1) セッションA1 韓国SAMIN http://www.sparj.com/SparJ/Spar2017J/speaker/samin2.pdf 2) セッションA2 建築 志手 http://www.sparj.com/SparJ/Spar2017J/speaker/shide2.pdf 3) セッションR1 4Dセンサー 森本 http://www.sparj.com/SparJ/Spar2017J/speaker/morimoto2.pdf 4) セッションA3 文化財 田子 (PC不調で公開できなかった) http://www.sparj.com/SparJ/Spar2017J/speaker/tago2.pdf 5) セッションA4 コイン (前回アクセス26万回で爆発) http://www.sparj.com/SparJ/Spar2017J/speaker/koishi2.pdf</p>
No.24	2017/6/17	<p>SPARView No. 24 アイロボティクス(東京)の「太平洋横断ドローンレース構想」、日本にも大胆な発想をする人たちが居るのでですね。頼もしいかぎり。 http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(24)/SparViewVol15(24)PacificDroneRace.pdf</p>
No.23	2017/6/11	<p>1.SparView No.23 1)ドローンの航空管制(UTM)の開発が、世界で急ピッチで進み始めた。国産(NTTデータ)も頑張ってもらいたいものだ。 2)ソリッドステート(駆動部の無い、ICチップ化された極小、低価格)のライダーを採用した製品が登場しはじめてきた。使い方が異なるので、従来のライダーがすぐにとって代ることはないが、いずれその境界はあいまいなものになっていくであろう。 http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(23)UTM.pdf</p> <p>2.SPARJ ウェブライブラリー 月間アクセス新記録! コインさんのスライドが今月12万回を超えました。(これまでの最高は2016年6月のルーチェ渡辺氏の8万回でした。) 6/15(木)SPAR2017J 二日目の午後 iCon&UAV(1)で女性陣による発表が行われます。 http://www.sparj.com/SparJ/Spar2017J/speaker/koishi.pdf (「コイン小町」という言葉に、おじさん達が見事にひっかかったようです。男なんて単純なものだから、簡単に騙されるのですかね? 影の声)</p> <p>1.SparView No.23 1)ドローンの航空管制(UTM)の開発が、世界で急ピッチで進み始めた。国産(NTTデータ)も頑張ってもらいたいものだ。 2)ソリッドステート(駆動部の無い、ICチップ化された極小、低価格)のライダーを採用した製品が登場しはじめてきた。使い方が異なるので、従来のライダーがすぐにとって代ることはないが、いずれその境界はあいまいなものになっていくであろう。 http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(23)UTM.pdf</p> <p>2.SPARJ ウェブライブラリー 月間アクセス新記録! コインさんのスライドが今月12万回を超えました。(これまでの最高は2016年6月のルーチェ渡辺氏の8万回でした。) 6/15(木)SPAR2017J 二日目の午後 iCon&UAV(1)で女性陣による発表が行われます。 http://www.sparj.com/SparJ/Spar2017J/speaker/koishi.pdf (「コイン小町」という言葉に、おじさん達が見事にひっかかったようです。男なんて単純なものだから、簡単に騙されるのですかね? 影の声)</p>
No.22	2017/6/2	<p>1.SparView No.22 1)インテリジェントCADの行きつくところ、マシンラーニングのAI CAD登場。 2)ファンド「チームドローンジャパン」設立。やはりゲーム業界がひっぱり手。 http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(22)AI_CAD.pdf</p> <p>2.SPAR2017J 事前登録は6/9(金) am 11:00 まで。 当日受付も行いますが値段が変わります。 http://www.sparj.com/SPAR2017Jattend.pdf</p> <p>3.SPARJとして連携を深めてきているJUIDAさんが企画しておられる「長野県伊那市主催:ドローン・フェス in INA Valley」を紹介 http://www.sparj.com/report/InaDrone1.pdf</p>

No.21	2017/5/25	<p>1.SparView No.21 1)Robird(鳥型ロボット)がここまで開発と実用化が進んでいるのに驚きました。空港近辺から鳥を追い払うのが目的ですから驚サイズが適切なのですが、いずれスズメサイズも登場してくるでしょう。何よりも音が静かというのが大きな特徴です。 2)トンネル内検査にもドローン GPSの使えない地下でも、リアルタイムSLAM(画像から位置認識)と衝突防止技術の進歩もすごいですね。 http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(21)Robird&Tunnel.pdf 2.SPAR2017JEX 展示会 事前登録すれば無料(当日受付¥2,000) ブース配置図 http://www.sparj.com/SparJ/Spar2017J/FloorPlan.pdf 各出展社の展示概要も呼び出せます。 申込みは、下記参照 http://www.sparj.com/SparJ/Spar2017J/SPAR2017Jregist.htm 3.SparView 過去検索、この半年分も登録しました。 http://www.sparj.com/SVJabst/SVJIndex2.xlsm</p>
No.20	2017/5/20	<p>1.SparView No.21 1)UAVフォトによる3D精度問題 草木の多いところはレーザーだが、少ないところは工夫すればかなりの精度が得られそう。 2)AR(拡張現実)などの表示でホロレンスが普及しているが、3D計測装置としても使えるのですね。発想の転換。 3)NYにドローン博物館 http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(20)/SparViewVol15(20)UAVphotoAccuracy.pdf</p>
No.19	2017/5/14	<p>1.SparView No.19 1)凹凸の多い山間部での道路建設のためのUAV計測(フォトグラメトリー)は、そう簡単ではないようだ。 2)スマートフォンが3D計測の、いよいよ表舞台に登場。「3次元大衆化」の大きな推進力になりそう。 http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(19)Smapho.pdf 2.SPAR2017J ホームページ更新中 1)基調講演スライド追加 (プログラム表示経由) 2)各社の展示概要(FloorPlan表示経由)</p>
No.18	2017/5/5	<p>1.SparView No.18 1)点群からモデルを生成する手法は、領域により、目的により異なるため個別に開発されてきている。それらの間で共通部分も多い。標準化活動OpenLSEFの動きに着目したい。 2)ライダーセンサー大手のペロダインが、ソリッドステートライダーを自動車向けに生産体制を築いていたが、広く産業用に販売開始。マーケットに与えるインパクトは大きいだろう。 3)AT&T 点群処理をAIで、点群は本来的にビッグデータなので、当然出てきて不思議ではない。 http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(18)OpenLSEF.pdf 2.SPAR2017J 会議参加募集中 プログラム、発表概要、一部発表スライドも順次追加中 SPARJ URLからどうぞ</p>
No.17	2017/4/29	<p>1.SparView No.17 1)相変わらず、AR(拡張現実)の話題豊富。AIと合わせて、人間とコンピュータとの関り方を一変させる波になるでしょう。 2)NTTドコモのドローンによる球形投影。日本からのアイデアも捨てたものではない。 3)ペイロード1トンのドローン登場も、そう遠くはなさそう。 http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(17)PayLoad1ton.pdf 2 SPAR本部が主催するCommercial UAV Expo Europe 2017 出展社一覧 http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(17)ComUAVEuropeSpo.pdf</p>
No.16	2017/4/22	<p>1.SparView No.16 1)アップル「ホバーカメラ」発売 ドローンにカメラをつけるのではなく、空中に浮かぶカメラとしての新型 たしかに新しいコンセプトのカメラ 2)Airborne Wind Energy(空中浮揚型風力発電) 風力発電といえば、地上もしくは海上にタワーを建て風車を回すもの、という認識しかありませんでした。なるほど・・・ 3)上のふたつとも共通のキーワード「空中に浮かぶ」です。 最近取り上げた空中タクシーや空飛ぶ自動車なども同じ。 人間の生活が、地表面の2次元から3次元空間に これからまだまだ新しい発想が生まれてくるでしょう http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(16)HoverCamera.pdf</p>
No.15	2017/4/16	<p>1.SparView No.15 SPAR3D世界大会からのトレンド報告 1)精度について考え直すべき 2)ビジュアライズが第1、計測は第2 3)とにかくにもソフト、ソフト 4)AR/VRが産業界全体に http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(15)SPAR3Dtrend.pdf 2.SPAR3D世界大会参加報告(河村) http://www.sparj.com/report/ReportSPAR_International2017.pdf</p>

No.14	2017/4/9	<p>1.SparView No.14</p> <p>1)レーザスキャナの低価格版続々と 専門家ツールとは一線を画するとはいえ、いずれ境界が消えていくことになるでしょう。ただし、今やハードやソフトの値段や性能の良し悪しの問題ではなく、ユースウェアで勝負が決まる時代へ。自社の事業目的に適した使いこなす技術と人材育成、社内の組織再構築・・・これは外から買ってこれるものではありません。後追いでは他社に勝てませんね。</p> <p>2)テラドローン ハングライダーの機能で、小型ドローンでもペイロード大幅アップ。ベンチャーの雄、徳重社長のビジネスとしての目のつけ方、スピード感到に敬服します。</p> <p>3)中国 経済力だけではなく、技術力も急速に。戦後の日本もかつてそうでした。歴史は繰り返す。 http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(14)PriceDown.pdf</p> <p>2.国土地理院公共測量マニュアル 国土地理院が「地上レーザスキャナを用いた公共測量マニュアル(案)」を3月末公開 --- いち早く解説セミナーを5月9日に東京で開催 RIEGL社 --- http://www.sparj.com/report/ChiriinManual_Riegl_SPARJ.pdf</p>
No.13		
No.12	2017/3/25	<p>1.SparView No.12</p> <p>これまで前向きの話ばかりであったが、たまには後ろ向き話も；</p> <p>1)予測されていたことであるが、米国では、情報保護、プライバシーなどの点から、ドローンの利用に制限をかけるようとする動きが顕在化してきた。</p> <p>2)つい2年前にドローンのマーケットに、雨後の筍のごとく参入してきたメーカーが、事業に行き詰まり、縮小・撤退の嵐が吹き始めてきた。マーケットが急拡大しているのだから、みんなが少しづつおこぼれを頂戴できるかと思いきや、現実のビジネスは冷酷です。 http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(12)DroneDown.pdf</p> <p>2.ダークツーリズムとアーカイブ お世話になっている渡邊英徳先生(首都大学東京)からイベントの案内をいただきました。 日本は「被災先進国」として、防災技術で世界に貢献していくべき、と常々主張していますが、渡邊先生の活動も応援していきたいですね。 http://www.sparj.com/report/DarkArchive.pdf</p>
No.11	2017/3/19	<p>1)非測量グレードであるが、NCTechが低価格\$13kライダーを発表した。また新しい価格段階にはいつか来たようだ。</p> <p>2)有視界外飛行の準備が進んでいる。ただし本格運用の前提となるID認識技術と管理体制が、まだ確立されていない。これが普及のネックになるかもしれない。 http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(11)DroneID.pdf</p>
No.10	2017/3/11	<p>ドローンマーケットは、やはり軍用が大きいです。世界で先進国だけでなく弱小国も、国民の安全を守る、という動機(口実?)で防衛費を増やし続ける。世界は「民主主義の行き詰まりもあって、寛容・協調の時代から、エゴ・対立の時代へ」この流れを変えるには、知恵を絞らねば、大変な勇氣と我慢が要りそうです。 http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(10)defense.pdf</p>
No.9	2017/3/4	<p>1)SLAM(自己位置認識)とAIとが重なり合い、障害物をさせて自動でパス設定。</p> <p>2)有視界外飛行 着々と準備とテスト進行。ドローン配送サービスには不可欠。 認可と同時に、一挙に花開きそう。 http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(09)SLAMplusAI.pdf</p>
No.8	2017/2/26	<p>1.SparView No.8</p> <p>1)大手携帯電話事業者(Verizon)ドローン技術取り込みへ 日本でもこの動きがでてくるであろう。</p> <p>2)中国:夜空に1000機のドローンショー ギネス登録 「日経2/25夕刊」によると、NTT 2020年に 2020機のドローンで空中スクリーン その頃には2020機程度では、別に驚きを与えないであろう。それと今後は、要素数(ドローン機数)の競争ではなく、表現力(シナリオ)の競争に移っていくであろう。3次元表現の特徴をどう出すのか? プラネタリウムみたいなの? 未踏の世界である。花火は3次元表現を実現している。</p> <p>3)AirMap UTM(ドローン航空管制システム)の共通基盤の開発 「日経2/26朝刊」METIドローン規格で日本が国際ルールを主導、と言っているが、世界標準をねらうのであれば、NASAなど米国やドイツ(それとできれば中国にも)に働きかけて、お手伝いをする、というスタンスのほうが日本の実力と存在価値を世界に示せるのではないか。 http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(08)1000droneGuinness.pdf</p> <p>2.JUIDA理事長 鈴木真二先生が『ドローンが拓く未来の空』という本を出されました。記念講演会が開催されます。 神保町3/8 http://www.sparj.com/report/suzukiBook&Lecture.pdf</p> <p>3.「4Dセンサー」の 森本吉春 先生(和歌山大学)からご紹介いただきました。 「全空間画像計測コンソーシアム セミナー」和歌山大学3/6 http://www.sparj.com/report/fujigaki.pdf よろしく願います。</p>
No.7	2017/2/17	<p>1.SparView No7</p> <p>1)次世代技術として着目されている、光の粒子(光子:photon)の性状を利用したガイガーモード・ライダーの登場で、実際に空撮マーケットがどう変わっていくのか、専門家のヒアリングから報告をまとめている。</p> <p>2)東京都が新宿で災害ドローンのテスト実施。先月大阪でも行われた。防災に向けて日本の行政も本腰をいれて取り組み始めている。心強いですね。</p> <p>3)ドローンタクシー:実現はまだ5-10年先では、と思っていたが、世界ではもう実用段階のところも。技術進歩は驚くべきスピードです http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(07)DroneTaxi.pdf</p>
No.6	2017/2/12	<p>SparView No.06</p> <p>1)「ARの夢実現へ」これまで何度も取り上げたが、これだけのペンダーが商品を出し始めて、もう後戻りはないでしょう。</p> <p>2)ドローンの世界連合 着実に発展。いずれ空の交通ルールなど、世界標準化が話題になってくるであろう。またしてもヨーロッパ主導で動きそうであるが、日本もその一翼を担いたいものだ。 http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(06)ARboiling.pdf</p>
No.5	2017/2/4	<p>SparView No.05</p> <p>1. アマゾンドローン宅配技術について、急ピッチで開発を進めており、特許の申請もひっきりなしである。この世界での確固たるポジションを狙っている。</p> <p>2. ドローン運航技術のトレーニング。日本でもオンラインポータルサイトの開発を進めているところがあると思われるが、まだ一般公開を始めたところは聞かない。(既に開始したところをご存知なら、教えてください) http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(05)AmazonPatent.pdf</p>

No.4		<p>1. SparView No.4 VR,AR,MRの大衆化(democratise)が進む。今の現場作業とはギャップが大きく、そう簡単に普及しないであろうが、だからこそ、チャレンジのし甲斐があるのでしょう。</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(04)VrArMr.pdf</p> <p>2. 先月SPARJで防災をメインテーマとしたUAV2016を開催しました。関連活動情報をいただきました。</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/bosaito3.pdf</p>
No.3	2017/1/21	<p>ドローン (UAV) 利用のアイデア、まだまだ出てきそうです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使い捨てボール紙製ドローン ・リモート自動ドローン基地 (Box) ・ホバリングバイク <p>ニーズさえ明確につかめれば、何だってできそう。</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(03)UseWhat.pdf</p>
No.2		<p>SparView No.02</p> <p>ひと昔前、といってもつい2年前、「3次元で現場作業が変わる」を実現するのに、筆者は「タブレットでのAR(拡張現実)技術で、紙の図面は無くなる」と主張した時期がありました。考えてみると両手でタブレットを持っていたのでは、作業ができないですね。それが眼鏡で(両手がフリーの状態)現場に必要な情報が届けられ、かつ手の動きや音声で入力できるとなると、圧倒的にこの方がいいですね。小生もここまで急速に進歩・普及するとは認識できていませんでした。済みません。3次元大衆化 (democratise) は驚くスピードで浸透します。</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(02)3Ddemocratise.pdf</p>
No.1	2017/1/8	<p>1)「3Dリアルタイムメッシュで大規模施設監視」 データモデルの正論からいくと、統合のためには、まず用語を統一し、関連 (association) を明確にし、とあるが、既存のデータベースにそんな手間暇はかけられない。専門家が使うのであれば、とにかくそのデータに簡単にたどり着くだけでも大きな効果。ペンシルバニア大学のアプローチは現実解といえる。</p> <p>2)ヨーロッパでは無数のドローン推進団体が誕生しているが、多くは資金面、人材面で苦戦。日本のJUIDA(理事長:鈴木真二東大教授)を見習うべきだ、と世界で評価されているのは嬉しい。</p> <p>3)グーグルのタンゴプロジェクトから、いよいよ一般消費者向けAR,MR製品が登場。マイクロソフトとの激戦が予想される。</p> <p>http://www.sparj.com/SVJabst/SVabst(15)/SparViewVol15(01)GoogleTango.pdf</p>